



特集展示

隅田川

七

福神

向島の名所と寺社



令和6年

令和7年

12/14(土)~2/16(日)

会場：2階展示室A
時間：午前9時~午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）・第4火曜日
12月29日~1月2日
入館料：個人100円・団体（20名以上）1人80円

*中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者
保健福祉手帳をお持ちの方及び介助の方は無料

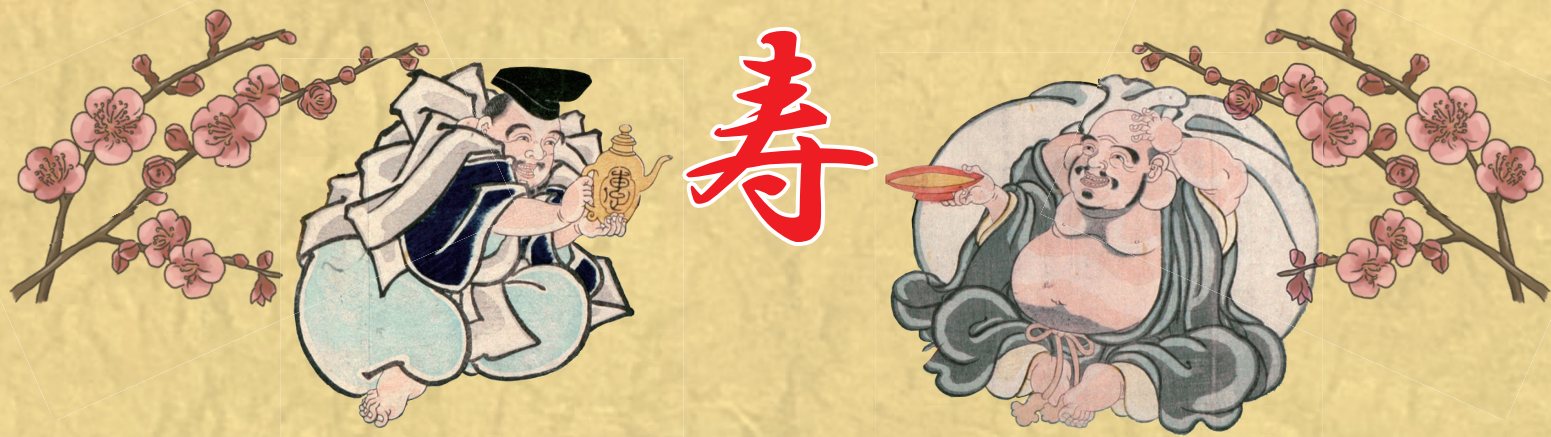
すみだ郷土文化資料館

東京都墨田区向島2-3-5

TEL 03(5619)7034 / FAX 03(3625)3431

すみだ
郷土文化資料館
ホームページ





隅田川七福神一向島の名所と寺社

七福神めぐりは、正月元旦から七日にかけて七つの福神をめぐるお正月の開運行事です。19世紀の江戸で盛んに行われ、やがて地域ごとに七福神めぐりが創設されましたが、谷中・深川・隅田川の七福神めぐりはとりわけ人気がありました。

隅田川七福神は、一説によれば、文化元年（1804）に佐原鞠場が開いた向島百花園に集まった文人たちによって形作られたといわれています。江戸時代の向島周辺には寺社や料亭など名所が集まっており、江戸市中から日帰りできるという地の利もあって、風景を愛で、名物を味わえる行楽地として大変にぎわいました。

江戸の人々の楽しみであった隅田川七福神は、安政江戸地震（1855）などから一時衰退しますが、明治31年（1898）頃に発足した隅田川七福会によって徐々に人気が復活し、現在では都内随一の七福神めぐりとして人気を博しています。平成15年（2003）には、区民の生活文化を語る慣習として、墨田区登録無形民俗文化財に登録されました。

本展示では、お正月の風物詩である隅田川七福神と寺社、向島の名所について、文献資料や浮世絵などから紹介します。



布袋唐子遊びの栄
歌川芳盛／江戸末期



堪忍袋／歌川貞秀（画）・十返舎一九（筆）
江戸時代



- 都営浅草線
「本所吾妻橋」駅より徒歩約8分
- 東武伊勢崎線
「とうきょうスカイツリー」駅より徒歩約7分
- 区内循環バス北西部ルート
「見番通り入口」停留所より徒歩約5分

すみだ郷土文化資料館

〒131-0033 東京都墨田区向島 2-3-5
TEL 03(5619)7034 / FAX 03(3625)3431